

# 横浜みどりアップ計画 地域緑のまちづくり事業

## R E P O R T

※助成金を活用していない活動も含まれます

元町河岸通り地区

## 元町河岸通りCRG



中区

◎取組期間 3 年    ◎協定締結期間 令和 3～5 年度    ◎助成金額合計 12,662 千円

### 団体・地区の概要

元町河岸通りは中区北部に位置し、元町地区の堀川沿いの通りで、首都高神奈川3号狩場線が建設された際に車道ができ、護岸壁沿いに植栽帯が整備されました。飲食店や美容・整体・ジム等の身体のケアまたペットのケアの店など同じ元町でも趣の違う商店街です。

これまでハマロードサポーターとして植栽の維持管理活動を行ってきた「元町河岸通り会」を核として緑化活動をこなう「元町河岸通りCRG」を発足し、土木事務所や区役所と連携しながら緑化活動に取り組みました。

### 取組(計画)の概要

元町河岸通りができたときに植えられ、長い年月で大きく育った樹木がありましたが、中高木の維持管理は土木事務所が、街路樹の地被類としてのローズマリーやタマズダは元町海岸通りCRGが管理するなどの協定書を作成し、統一感のある明るい通りを目指しました。西側の角には石を組んだ花壇を新たに設置し、元町河岸通りの入り口を綺麗に飾ってくれています。

全長約600mの通りには水を取るところが少なく資材置き場が1箇所だったため、「オリジナル屋根付きパーゴラ雨水貯水タンク」や、作業中に休憩もできる

「ベンチ型の物入れ」を設置しました。環境が整うことにより、働きながら手軽に手入れが可能となり、過大な負担を感じることなく、花の手入れや緑の維持管理活動が可能となりました。また、お揃いのロゴ入りエプロンを作成し、日々のお手入れに楽しく参加してもらえるようにしています。

講師を招いたハンギングバスケット制作講習会や、ハンギングバスケットの植え替えなどを、年2回開催しました。通りの店先などに設置し、無機質な空間が緑化されていくのを体感してもらうとともに、SNSで発信し活動のPRを図りました。



### 横浜みどりアップ計画とは

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

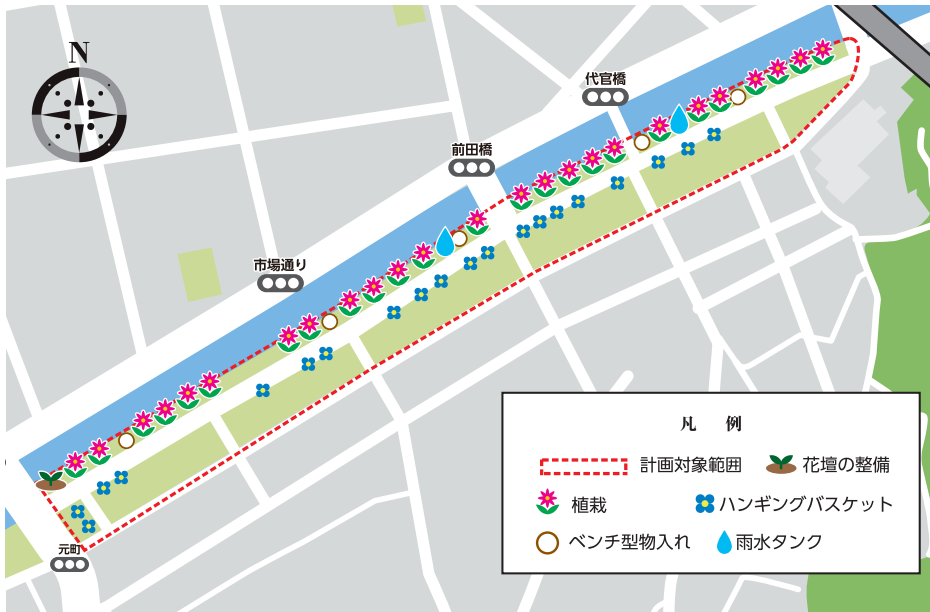
詳細は... [横浜みどりアップ計画](#)

### 地域緑のまちづくり事業とは

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民との協働により緑化を進めるものです。

詳細は... [地域緑のまちづくり事業](#)





地区の範囲図及び緑化実施場所



整備された「タマスダレ」



オリジナル屋根付きパーゴラ雨水貯水タンク



店舗にハンギングバスケットを設置



石を組んで作られた花壇

## ■ 民有地緑化

### 花が増え明るくなった「元町河岸通り」 魅力的なまちづくりを実現

緑は育てるものと考え、川沿いの植栽には地植えで日陰にも強いローズマリーや花を咲かせるタマスダレを選びましたが、1年目はまだ大きく育った木々の整備が間に合わず、一部のローズマリーを枯らしてしまいました。樹木を土木事務所に剪定していただき、日の光が届くようになりましたので、新たにタマスダレを増やし、通りの西側には自分たちでデザインを考えた「石造りの花壇」を整備しました。秋になるとたくさんの花を咲かせるタマスダレが、より綺麗な景観をつくり、「明るい・きれい・安全・気持ちがいい」と言われるようなまちづくりを実現することができました。

### オリジナル屋根付きパーゴラ雨水貯水タンク

雨水貯水タンクは周囲の景観に馴染むように、パーゴラに緑が上がってくるようなデザインを自分たちで考え制作しました。元町のイメージもあるので、素材はアイアンを選び、緑は季節を

問わない常緑のアイビーを採用しました。アイビーは自分で巻きついてくれる種ではないため、自分たちで結束バンドで留めながら手入れして、イメージした通りの綺麗な形を保っています。1年目はまだ木が多く茂っており、雨水が取れる場所が限られていたため、1台のみ設置しました。樹木の剪定が進み、だんだん明るく空が見える場所が増えたため、3年目に2台目を設置することができました。

## ■ 地域緑化活動

### ハンギングバスケットを通じた地域交流

当初ハンギングバスケット制作講習会は室内で行っていましたが、設置までの流れが大変だったため、4回目以降は外で実施するなど、活動しやすい形を模索しました。活動を通して、新しく住人になった方が緑化活動に参加しながら地域の人と知り合うための良い機会となっています。制作したハンギングバスケットは店先などに設置し、無機質な空間が緑化されていくのを体感してもらうとともに、SNSで発信し活動のPRを図りました。

## 3か年の取組みを振り返って

活動中はやってみないと分からないことも多く、一つずつ試しながら進めていきましたが、試行錯誤と挑戦を重ね、結果的には120%の仕上がりになったと感じています。最初は綺麗にしなくてはいけないという使命感やプレッシャーの中での作業でしたが、3年間通して活動したことで余裕も増えて、みんなで楽しみながら活動できるようになりました。薄暗かった通りが整備され、明るく統一感のある魅力的な通りになったことで、周りからの反響も大きかったです。タマスダレが咲く秋頃になると、それを見にくる人も増え、今では元町河岸通りの名物となっています。